

神戸防災技術者の会 布引公園の災害史を歩く

2017年は昭和42年災害から50周年でした。この機会に、森林整備事務所や布引ハーブ園で保管されていた資料をひもといてみました。この資料と地図を頼りに現地を歩きます。

2019年2月2日(土)午前10時から

参加費：一般 1000円、学生(高校生以上に限る)500円 / 募集人数 30人

場所：神戸市中央区北野町 神戸布引ハーブ園

受付場所：神戸布引ロープウェイ山麓駅改札前

(担当者がお待ちしておりますのでロープウェイ乗車券と名札を受け取って、山上広場屋上レストハウスローズマリールームにお集まりください。なお、山麓駅から山上駅まではおよそ10分かかります。)



写真：神戸市提供

■お申込み方法・参加費・ご連絡先■

参加をご希望の方のお名前、ご住所、ご年齢、連絡先(メールアドレス、電話番号など)をご記入の上件名を「布引・災害跡地」にし nunobiki0202@k-tec117.org までメールでお申込み下さい。

主催：神戸防災技術者の会

神戸市中央区元町通4丁目2番14号 こうべまちづくり会館内

Email：nunobiki0202@k-tec117.org

後援：国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所、
兵庫県神戸県民センター、神戸市



平成30年、兵庫県は成立150周年を迎えます。この節目にあたり、ふるさと兵庫を再認識し新たな兵庫づくりを考える機会とするため、当該事業を実施します。

神戸の市街地のすぐ裏で発生した災害の跡地を体験する

山地災害は毎年のように発生しています。

神戸は江戸時代からの災害の記録も残っており昭和13年の阪神大水害から80年、昭和42年の災害からも50年以上が経過しています。神戸市葺合区(現中央区葺合町)市ヶ原の世継山斜面では約5,200立方mの土砂が崩壊し、ふもとの市ヶ原集落を襲い多くの人家が土砂に飲み込まれ21名の人命が失われました。

昨年、神戸市の保管資料から大きな崩壊の原因になったゴルフ場の平面図を入手することができました。現地の世継山から南半分は現在ハーブ園としてオープンしていますが、北半分は特別緑地保全地区にも指定されており現在は樹林地化しています。

新たな資料発見
神戸防災技術者の会
松岡 達郎

地形から災害をよむ
神戸親和女子大学
齋本 格

公園整備前の状況
元神戸市公園砂防部長
小森 正幹

スケジュール

10:15～10:30 新たな資料について 松岡達郎(事務局)

10:30～11:15 公園整備前の状況について

小森 正幹氏(元神戸市建設局公園砂防部長)

11:25～12:10 崩壊現場でその痕跡を探す(六甲山地の生い立ちと土砂災害)

齋本 格氏(神戸親和女子大学教授)

お昼休憩 昼食は各自でお願いします

13:00～15:45 現地(16時までに解散します。)

現在ハーブ園として整備されている区域や世継山北側の崩壊地復旧跡を歩きます。

(北側の区域は山道です。また、山腹工事の現場は足元が大変急な箇所があります。

トレッキングシューズなど歩きやすい服装でお集まりください)

最終は展望レストハウスまで戻ります。

アクセス

電車

神戸市営地下鉄西神・山手線に乗り「新神戸」下車、徒歩約5分
阪急・阪神「神戸三ノ宮」、JR「三ノ宮駅」より地下鉄で一駅の「新神戸駅」より徒歩5分

新幹線

JR「新神戸」下車、徒歩5分

市バス

市バス(2・18・90・92系統)「布引」下車、徒歩約5分
または、市バス(64系統)「新神戸駅前」下車、徒歩約5分

シティー・ループバス

「神戸布引ハーブ園/ロープウェイ」下車、徒歩5分

